

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	あきる野市高齢者在宅サービスセンター 五日市センター
	所在地	あきる野市館谷台 17
	所管課	健康福祉部高齢者支援課高齢者支援係（内線）2632
指定管理者	名 称	医療法人財団 暁
	所在地	あきる野市秋川 6-5-1
	業務内容	1 管理運営に関する業務 (1) 高齢者生きがい活動支援通所事業 (2) 地域における高齢者福祉の拠点としての活動事業 (3) その他市長が特に認めた事業 2 施設、設備等の維持管理及び修繕に関する業務 (1) 屋内・屋外（植木等のせん定を含む。）、付帯設備及び物品の保守、維持管理及び修繕に関すること。 (2) その他の施設等の管理に関すること
ホームページ URL		http://www.akirudai-hp.or.jp/houzin/center.html
指 定 期 間		平成25年4月1日～平成30年3月31日

2 施設の利用状況等について

項 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
開館等日（日）	244	307	289	269	264
延べ利用者数 通所（人）	2,827	2,734	2,867	2,623	2,272
前年度比（人）	—	△93	133	△244	△351
前年度比（%）	—	96.7	104.9	91.5	86.6
延べ利用者数 自主事業（人）	291	984	2,267	2,362	2,488
前年度比（人）	—	693	1,283	95	126
前年度比（%）	—	338.1	230.4	104.2	105.3
利用料金 合計 通所（千円）	2,451	2,374	2,542	2,296	1,979
前年度比（千円）	—	△77	168	△246	△317
前年度比（%）	—	96.9	107.1	90.3	86.2
利用料金 合計 自主事業（千円）	871	2,006	2,225	2,328	2,765
前年度比（千円）	—	1,135	219	103	437
前年度比（%）	—	230.3	110.9	104.6	118.8

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
収 入	指定管理料	13,781	13,287	13,640	13,927	13,791
	利用料金収入	2,451	2,374	2,542	2,296	1,979
	自主事業収入	871	2,006	2,225	2,328	2,765
	収入計	17,104	17,667	18,407	18,551	18,535
支 出	人件費	9,268	10,646	10,604	10,210	9,955
	維持管理経費	4,526	5,361	5,156	5,244	5,498
	自主事業関係経費	9,091	4,425	2,624	2,225	2,174
	その他の支出	0	0	0	0	0
	支出計	22,885	20,432	18,384	17,679	17,628
収支(収入-支出)	△5,781	△2,765	23	872	908	

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート(実施時期や具体的な方法など)
通所事業については、利用者からのアンケートや面談で、満足度や心身の状態を把握し、利用者が何を求めているか、寄り添う気持ちを大事に心がけました。 チェックリストを作成し、意見箱の設置、定期的に面談を実施しました。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
自主事業における健康麻雀については、午前中の活動で実施していましたが、1日活動したいとの要望があったため、1日の活動に変更しました。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など(取組の内容、効果など)
通所事業では、利用者が尊厳を保持し、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことが出来るように支援し、また五日市の特色を活かし、センター周辺散策、音楽体操、体力向上のプログラムを取り入れました。 自主事業では、周知PRに継続的に取り組んだ結果、昨年度より利用者を増加することができました。今後も利用率を持続的に維持できるように、啓発活動を継続的に取り組んでいきます。 介護学院の事業も昨年同様、東京都の介護職員初任者研修資格取得支援事業を受託し、未経験者の受講者も増えており介護人材不足に貢献することが出来ました。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
光熱費に対しては、節電等の計画を立て、それを職員間で周知し、実施してきました。 消耗品などは価格の比較検討を実施し、物品購入リストを作成しました。 在庫管理表を作成し、在庫を増やさないよう努力しました。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
通所事業の利用者は減少しましたが、これからも地域の方が楽しめる交流場として活動していきます。また、自主事業は、周知PR活動を継続的に取り組んだ結果、利用者の増加につながりました。今後も利用者が増加するよう努力します。介護職員初任者研修の事業も継続的に実施し、介護職の人材不足に貢献できるように就労活動にも力をいれていきます。今後も市民の皆様に喜んでいただけるセンター作りを目指します。 冬季は雪の影響での水漏れ、施設の老朽化で整備や修繕を行っていく必要があります。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
<p>通所事業については、センターの特性を生かした体力向上のプログラムの実施や利用者からのアンケートの実施など、利用者のニーズに合った事業展開をしております評価できます。自主事業では、啓発・広報活動に積極的に取り組み、昨年度より利用者が増加していますので評価します。介護学院の事業についても、未経験者の受講者が増加しており大変評価できます。今後も、介護サービスのニーズが高まり、人材の確保が必要不可欠となりますので、継続して実施していただくことを期待します。</p>	
経費削減の取組	
<p>光熱水費については、節電等の計画を職員間で共有し実践することが重要です。また、消耗品などの購入に当たって、価格を比較して経費の削減に取り組んでおり評価できます。引き続き、経費の削減に努めてください。</p>	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
<p>通所事業の利用者が減少していますので、啓発・広報活動に積極的に取り組むよう努力してください。自主事業については、利用者が増加するとともに、地域の方が楽しめる交流場として活動し、利用者のニーズにあった事業を展開していますので評価します。今後も啓発・広報活動に努め、利用者のニーズを把握し事業を展開してください。</p> <p>介護学院の事業も継続的に実施しており、介護職の人材不足に貢献していますので大変評価できます。今後も継続的に事業を実施してください。なお、事業の実施に当たっては、これまでの収支状況を踏まえ、収支状況のバランスを意識し計画的に進めてください。</p>	
総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。